第１号様式
（表面）

# 事　前　申　出　書

年　　月　　日

荒川区長　殿

事業者
住　所
氏　名
電　話

荒川区市街地整備指導要綱第５条の規定に基づき、下記の事業について事前協議の申出をいたします。

記

１　計画地の概要

<table>
<tr><td colspan="3">名　　称：</td><td colspan="3">用途：</td></tr>
<tr><td colspan="3">計画場所<br>（地名地番：　　）<br>（住居表示：　　）</td><td colspan="3">施行区域面積：　　㎡<br>（敷地面積：　　㎡）</td></tr>
<tr><td>都市計画</td><td colspan="2">用途地域：</td><td colspan="2">指定建ぺい率：　　％</td><td colspan="2">基準容積率：　　％</td></tr>
<tr><td colspan="3">着手予定：　　年　　月　　日</td><td colspan="3">完了予定：　　年　　月　　日</td></tr>
<tr><td rowspan="2">事　業　者</td><td>住　所</td><td colspan="5"></td></tr>
<tr><td>氏　名</td><td colspan="5"></td></tr>
<tr><td rowspan="2">設　計　者</td><td>住　所</td><td colspan="5"></td></tr>
<tr><td>氏　名</td><td colspan="5"></td></tr>
<tr><td rowspan="2">施　工　者</td><td>住　所</td><td colspan="5"></td></tr>
<tr><td>氏　名</td><td colspan="5"></td></tr>
<tr><td colspan="2">連絡先：<br>事業者／設計者／施工者</td><td colspan="2">電話番号：<br>(FAX)　：</td><td colspan="3">担当者：</td></tr>
<tr><td>※備考</td><td colspan="3"></td><td>※区受付欄</td><td colspan="2"></td></tr>
</table>

（裏面）

2　土地利用計画

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 建築敷地面積 | ㎡ | | | |
| 道路の<br>新設・拡幅 | 有・無 | 新設道路：幅員　　m、面積　　㎡<br>拡幅道路：幅員　　m、拡幅面積　　㎡（敷地　側） | | |
| 建築基準法<br>42条2項道路<br>の後退 | 未・済 | 後退延長　　m、後退面積　　㎡ | | |
| 自主管理緑地 | ㎡：　　% | | 公開広場 | 有・無<br>㎡：　　% |
| 屋上緑化 | ㎡：　　% | | | |
| 接道部緑化 | 接道長　　m：接道部緑化延長　　m：接道部緑化割合　　% | | | |

3　建築計画

| | | | |
|---|---|---|---|
| 棟数：　棟 | 構造： | 規模：地上　階／地下　階 | 住宅戸数：　戸 |
| 建築面積：　　㎡ | | 建ぺい率　　% | 建築物の高さ<br>m<br>（最高の高さ<br>m） |
| 延床面積：　　㎡<br>（容積率対象床面積：　　㎡） | | 容積率　　% | |

| 事業計画 | 用　　途 | 数 | 床面積 |
|---|---|---|---|
| | | | ㎡ |
| | | | ㎡ |
| | | | ㎡ |
| | | | ㎡ |
| | | | ㎡ |
| | | | ㎡ |
| | | | ㎡ |
| | | | ㎡ |
| | | | ㎡ |
| | | | ㎡ |
| | 床　面　積　合　計 | | ㎡ |

| 環境対策等 | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 廃棄物保管場所 | ヶ所：計　　㎡ | 再利用対象物保管場所 | ヶ所：計　　㎡ | |
| 駐車台数 | 台 | 駐輪台数 | 住居用　　台・店舗等用　　台 | |
| 防火水槽 | ヶ所：計　　t | 緊急連絡先表示板 | （　　）付近 | |
| 町会（町会名・協議日） | （　　）会・　　年　　月　　日 | | | |
| 土壌汚染のおそれ | 有・無 | 埋蔵文化財包蔵区域 | 内・外 | |

| | |
|---|---|
| 添付資料チェック欄 | □案内図　□現況図　□公図（写）<br>□敷地求積図　□土地利用計画図　□配置図<br>□建物平面図　□建物立面図　□建物断面図<br>□協議結果報告書　□近隣関係住民協議経過報告書<br>□景観チェックシート　□防災対策チェックシート<br>□建築物環境配慮チェックシート　□緑化計画図　□日影図<br>□電波障害予測図（写）　□その他（　　） |

第１号様式
（表面）

# 事　前　申　出　書

年　　月　　日

荒川区長　殿

事業者
住　所
氏　名
電　話

荒川区市街地整備指導要綱第５条の規定に基づき、下記の事業について事前協議の申出をいたします。

記

１　計画地の概要

<table>
<tr><td colspan="3">名　　称：</td><td colspan="3">用途：</td></tr>
<tr><td colspan="3">計画場所<br>（地名地番：　　）<br>（住居表示：　　）</td><td colspan="3">施行区域面積：　　㎡<br>（敷地面積：　　㎡）</td></tr>
<tr><td>都市計画</td><td colspan="2">用途地域：</td><td colspan="2">指定建ぺい率：　　％</td><td>基準容積率：　　％</td></tr>
<tr><td colspan="3">着手予定：　　年　　月　　日</td><td colspan="3">完了予定：　　年　　月　　日</td></tr>
<tr><td rowspan="2">事　業　者</td><td>住　所</td><td colspan="4"></td></tr>
<tr><td>氏　名</td><td colspan="4"></td></tr>
<tr><td rowspan="2">設　計　者</td><td>住　所</td><td colspan="4"></td></tr>
<tr><td>氏　名</td><td colspan="4"></td></tr>
<tr><td rowspan="2">施　工　者</td><td>住　所</td><td colspan="4"></td></tr>
<tr><td>氏　名</td><td colspan="4"></td></tr>
<tr><td colspan="2">連絡先：<br>事業者／設計者／施工者</td><td colspan="2">電話番号：<br>(FAX)　：</td><td colspan="2">担当者：</td></tr>
<tr><td>※備考</td><td colspan="2"></td><td>※区受付欄</td><td colspan="2"></td></tr>
</table>

（裏面：墓地、納骨堂、ペット火葬施設等、移動火葬施設）

2　土地利用計画

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 建築敷地面積 | ㎡ | | | |
| 道路の<br>新設・拡幅 | 有・無 | 新設道路：幅員　　m、面積　　㎡<br>拡幅道路：幅員　　m、拡幅面積　　㎡（敷地　側） | | |
| 建築基準法<br>42条2項道路<br>の後退 | 未・済 | 後退延長　　m、後退面積　　㎡ | | |
| 自主管理緑地 | ㎡：　　% | | 公開広場 | 有・無<br>㎡：　　% |
| 屋上緑化 | ㎡：　　% | | | |
| 接道部緑化 | 接道長　　m：接道部緑化延長　　m：接道部緑化割合　　% | | | |

3　施設整備計画

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 建築物 | 建築物の棟数：　棟 | 構造： | 規模：地上　階／地下　階 | |
| | 建築面積：　　㎡ | 建ぺい率　　% | 建築物の高さ<br>m<br>（最高の高さ<br>m） | |
| | 延床面積：　　㎡<br>（容積率対象床面積：　　㎡） | 容積率　　% | | |
| その他施設 | 墳墓、納骨等の区画数 | | | |
| | 境界 | 障壁（材料：　　、高さ：　　m）　垣根（種類：　　） | | |
| | 脱臭対策の内容<br>（　　）<br>ばいじんと臭気指数の測定（時期、方法等）<br>（　　） | | | |
| 焼却設備 | 廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行規則第１条の７の他、下記の性能等が確認できる資料を添付のこと。 | | | |
| | 設置数<br>基 | ﾀﾞｲｵｷｼﾝ類・ばいじんの排出量 | ﾀﾞｲｵｷｼﾝ類：　　ﾅﾉｸﾞﾗﾑ<br>ばいじん：　　ｸﾞﾗﾑ | 防じん・防臭装置 | □二次燃焼装置<br>□集じん装置<br>□その他<br>（　　） |
| 環境対策等 | 駐車台数 | 来客用　　台<br>その他　　台 | 駐輪台数 | 来客用　　台<br>その他　　台 |
| | 廃棄物保管場所 | ヶ所：計　　㎡ | 防火水槽 | ヶ所：計　　トン |
| | 再利用対象物保管場所 | ヶ所：計　　㎡ | 土壌汚染のおそれ | 有・無 |
| | 電波障害対策 | | 埋蔵文化財包蔵区域 | 内・外 |

| | |
|---|---|
| 添付資料チェック欄 | ◇案内図　□現況図　□公図（写）　□敷地求積図<br>□土地利用計画図　◇配置図　□建物平面図　□建物立面図<br>□建物断面図　□協議結果報告書　◇近隣関係住民協議経過報告書<br>□景観チェックシート　□防災対策チェックシート<br>□建築物環境配慮チェックシート　□緑化計画図　□日影図<br>□電波障害予測図（写）　◇その他（焼却設備の資料など　　）<br>※移動火葬施設については、◇の資料を添付のこと。 |

第２号様式
（表面）

# 事 前 申 出 書 （ 変 更 ）

年　　月　　日

荒川区長　殿

事業者
住　所
氏　名
電　話

事業計画が変更になりましたので、荒川区市街地整備指導要綱第５条第７項の規定に基づき、申出をいたします。

記

(1)　事前申出書届出年月日　　年　　月　　日　受付番号第　　号
(2)　変更理由

１　計画地の概要

| | | | |
|---|---|---|---|
| 名　　称： | | 用途： | |
| 計画場所<br>（地名地番：　　）<br>（住居表示：　　） | | 施行区域面積：　　㎡<br>（敷地面積：　　㎡） | |
| 都市計画 | 用途地域： | 指定建ぺい率：　　％ | 基準容積率：　　％ |
| 着手予定：　　年　　月　　日 | | 完了予定：　　年　　月　　日 | |
| 事　業　者 | 住　所 | | |
| | 氏　名 | | |
| 設　計　者 | 住　所 | | |
| | 氏　名 | | |
| 施　工　者 | 住　所 | | |
| | 氏　名 | | |
| 連絡先：<br>事業者／設計者／施工者 | 電話番号：<br>(FAX)　： | 担当者： | |
| ※備考 | | ※区受付欄 | |

（裏面）

2　変更内容

| 変　更　前 | 変　更　後 |
| --- | --- |
| | |

第３号様式

年　月　日

荒川区長　殿

事業者
住　所
氏　名

# 事 前 申 出 書 （ 取 下 げ ）

さきに事前申出をしました下記の事業計画を取下げたいので、荒川区市街地整備指導要綱第５条第８項の規定に基づき申出いたします。

記

１　事前申出書届出年月日
年　　月　　日　（受付番号第　　号）

２　名　　称　：

３　計画場所
（地名地番）：
（住居表示）：

４　取下げ理由

第４号様式

年　　月　　日

# 協　議　結　果　報　告　書

荒川区長　殿

事業者　住　所
氏　名
電　話

荒川区市街地整備指導要綱第５条第４項の規定に基づき、下記のとおり協議を行いましたので、報告いたします。

| | |
|---|---|
| 協議先 | |
| 協議日時　　年　　月　　日 | 協議場所 |
| 出席者 | |
| 協議内容 | |

第５号様式

年　　月　　日

# 近隣関係住民協議経過報告書

荒川区長　殿

事業者　住　所
氏　名
電　話

荒川区市街地整備指導要綱第６条第２項の規定に基づき、下記のとおり協議を行いましたので、報告いたします。

| | |
|---|---|
| 協議先 | |
| 協議日時　　年　　月　　日 | 協議場所 |
| 出席者 | |
| 協議内容 | |

第６号様式

年　　月　　日

# 完　　了　　届

荒川区長　殿

事業者　住　所
氏　名
電　話

下記の事業計画について工事が完了しましたので、荒川区市街地整備指導要綱第２２条の規定に基づき、届け出ます。

| | |
|---|---|
| 名　　称： | |
| 事　業　場　所（地番）　　：<br>（住居表示）： | |
| 事業着手日：　　年　　月　　日 | 事業完了日：　　年　　月　　日 |
| 事業内容の変更の有無とその内容 | □有　　□無 |
| 変更前 | 変更後 |
| 完了確認立会希望日　　年　　月　　日 | |

第８号様式

# 景観チェックシート

## 計画概要

計画場所の属する景観計画区域：景観基本軸（日暮里台地・隅田川・都電）・一般地域（住居系・商業系）

外壁基本色（マンセル値）：　色相（　　）／明度（　　）／彩度（　　）

外壁強調色（マンセル値）：　色相（　　）／明度（　　）／彩度（　　）

## 配慮事項（基準）

| | 【配慮事項】 | 【対応方針】 |
|---|---|---|
| **建築物等** | | |
| 配置 | □壁面の位置の連続性や適切な隣棟間隔の確保など、道路などの公共空間や街並みに配慮した配置とする。<br>□道路などの公共空間と連続したオープンスペースの確保など、公共空間との関係に配慮した配置とする。 | |
| 高さ・規模 | □周辺の建築物群のスカイラインに配慮し、著しく突出した高さの建築物は避ける。<br>□周辺の主要な眺望点（道路、河川、公園など）からの見え方に配慮する。 | |
| 形態・意匠・色彩 | □建築物の外装材は、周辺景観に配慮するとともに、地域で親しまれている素材・色がある場合はその活用に努める。<br>□大きな壁等は部材や色彩・素材などにより面を分割するなど、圧迫感を感じさせないよう工夫する。 | |
| 屋根・屋上 | □バルコニーや屋根、屋上にある設備等は、建築物と一体的に計画するなど周囲からの見え方に配慮する。<br>□屋上緑化・壁面緑化を検討し、緑の創出に配慮する。 | |
| **外構等** | | |
| 敷地の緑化等 | □敷地内はできる限り緑化を図り、潤いのある空間を創出するよう工夫する。<br>□緑化に当たっては、植物の良好な生育が可能となるよう、植栽地盤を工夫する。<br>□樹種の選定に当たっては、周囲との調和などに配慮する。 | |
| 公開空地 | □隣接する緑やオープンスペースとの連続性に配慮する。<br>□周囲の環境に応じた夜間の景観を検討し、周辺の景観に応じた照明を行う。 | |
| 舗装・設備等 | □外構計画は、敷地内のデザインのみをとらえるのではなく、隣接する敷地や道路など、周辺の街並みと調和を図った色調や素材とする。<br>□ベンチや照明灯などの施設は、統一性に配慮する。また、照明の色についても周囲との連続性に配慮する。<br>□施設内に設ける設備類は、周囲からの見え方に配慮する。 | |

**その他**

第９号様式

# 防災対策チェックシート

災害時に初期消火活動や救出救護活動を行うためには、必要な器材を準備し、保管場所を定めて、いつでも使用できるようにしておく必要があります。また、停電や断水等に備えて、非常用照明器具や発動発電機、飲料水や食料（１人３日分を目安）を準備しておく必要もあります。現在計画している建物は、災害に対して配慮されたものでしょうか。

| 項目 | | 対応方針 |
|---|---|---|
| 耐震性 | 構造躯体の倒壊等防止<br>（極めて稀に発生する地震への対応） | □建築基準法に定める基準の（　　）倍以上<br>□その他<br>（　　） |
| | 構造躯体の損傷防止<br>（稀に発生する地震への対応） | □建築基準法に定める基準の（　　）倍以上<br>□その他<br>（　　） |
| 耐火性 | | □耐火建築物<br>□その他<br>（　　） |
| 安全性 | エレベータ | □地震・火災時管制運転装置<br>□その他<br>（　　） |
| | 落下防止 | □安全ガラス<br>□バルコニー又は庇<br>□その他<br>（　　） |
| | 居室 | □備付け家具への耐震ラッチ<br>□耐震枠付玄関ドア<br>□家具転倒防止対策<br>□その他<br>（　　） |
| | 電気 | □分電盤内蔵型感震ブレーカー（　　）室 |
| 災害への備え | 救助等に必要な設備・機材の整備 | □防火水槽<br>□防災用資機材置場<br>□その他<br>（　　） |
| | 生命維持への備え | □備蓄倉庫<br>□その他<br>（　　） |
| | 日常からの備え | □防災組織の結成<br>□その他<br>（　　） |
| その他 | | 特筆すべき事項 |

第 10 号様式

# 建築物環境配慮チェックシート

建築物は建設されると長期にわたって使用されるものであり、新築や増築の機会を捉えて建築物の環境性能を高めていくことが必要です。

低炭素地域づくりを推進する荒川区では、建築物における環境配慮をお願いしています。

現在計画されている建築物は環境を配慮した建物でしょうか。

| 区分 | | 配慮項目 | | 規模等 |
|---|---|---|---|---|
| エネルギー使用の合理化 | 建築物の熱性能 | □ | 省エネ法の基準（※１）を満たしている | |
| | 省エネルギーシステム | □ | 省エネ法の基準（※１）を満たしている | |
| 再生可能エネルギーの利用 | | □<br>□<br>□ | 太陽光発電システム<br>太陽熱利用システム<br>その他（　　） | |
| ヒートアイランド現象の緩和 | 敷地と建築物の被覆対策 | □ | 遮熱性塗装を行う | |
| | | □ | 屋上緑化又は壁面緑化を行う | |
| | | □ | 緑化の基準を満たしている | |
| | | □ | その他（　　） | |
| 資源の適正利用 | エコマテリアル | □ | 再生材を利用する | |
| | オゾン層の保護 | □ | ノンフロン材を使用する | |
| | 水循環 | □ | 雨水又は再生水の雑排水利用を行う | |
| | その他 | □ | （　　） | |
| 環境保全 | 雨水浸透等 | □<br>□ | 透水性舗装を実施する<br>その他（　　） | |
| その他 | | □<br>□<br>□ | 電気自動車充電設備を設置する<br>カーシェアリングを導入する<br>その他（　　） | |

※１　住宅：住宅に係るエネルギーの使用の合理化に関する建築主等及び特定建築物の所有者の判断の基準

住宅以外：建築物に係るエネルギーの使用の合理化に関する建築主等及び特定建築物の所有者の判断の基準